

ストレージの老朽化更新を見直すべきときが来ています

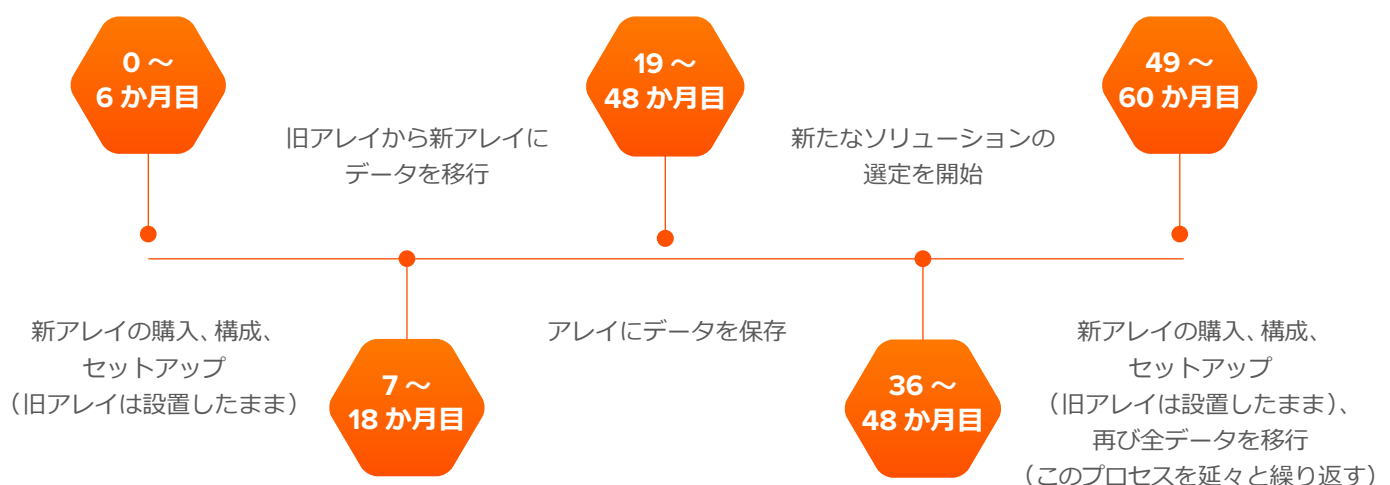
ストレージの老朽化更新からの脱却を
実践するお客様が増えています。

従来型ストレージは短寿命

従来型データ・ストレージ・システムの一般的な寿命は、最長でも5年程度だといわれています。しかし、従来型ソリューションを導入している企業の多くは、5年間の計画に対して実際には平均2年強でストレージの更新を行っているのが実情です。多くの企業はこれまで、このようなストレージの老朽化更新にまつわる悪条件を甘んじて受け入れてきました。

その時代は終わりました。従来型ストレージの老朽化更新に代わって、[Evergreen™](#) を選ぶ企業が増えています。

従来型ストレージにおける3～5年ごとの老朽化更新サイクル





データ・ストレージの真の価値

従来型のストレージ・システムは、ストレージへの投資を十分に活用できないだけでなく、導入や管理が難しいという問題があります。老朽化更新では、5年ごとに、新しいハードウェアの購入コストに加え、リスクが高く時間のかかるデータ移行作業が発生します。また、データ量の増大に伴う拡張の場合は特に、徹底したモニタリング、チューニング、トラブルシューティングも必要となります。これらは、遅延や破壊的なメンテナンス、ダウンタイムといった問題とともに、ストレージのユーザビリティや総合的価値の大幅な低下の要因となります。



現状に甘んじる必要はない

従来型データ・ストレージの運用の複雑さと高コストといったマイナス面は、データ・ストレージの運用においてはやむを得ないものとして、過去数十年の間、ユーザーである企業に受け入れられてきました。また、ストレージのメーカーや、それらのメーカーが提供するソリューションは、みな似たようなものだと考えられてきました。かつてはそれが真実だったのかもしれませんが、しかし、その時代は終わっています。現在では、より高速で効率性に優れ、管理が容易なストレージが存在し、既に広く利用されているのです。この近代的なストレージの出現は、ストレージ・インフラの更新サイクルだけでなく、データそのものについての考え方を見直す大きなきっかけとなっています。



既成概念にとらわれない

ピュア・ストレージは、効率性、費用対効果、信頼性に優れ、管理が極めて容易なストレージを提供します。ニーズにあわせた拡張が可能で、常に最新の状態を保つストレージが、再購入、老朽化更新、データ移行といったコスト要因を排除し、お客様のストレージ投資を保護します。従来型ストレージでは避けられなかった再購入や老朽化更新の繰り返しから解放されることが、多くのお客様によって既に実証されています。従来型ストレージによる制限を解除し、限界突破を目指しましょう。ピュア・ストレージは、ストレージの老朽化更新に対する考え方を根本から変えます。



老朽化更新からの脱却

これまで、5年ごと、あるいは最悪のケースでは2年ごとに実施されていたデータ移行は、もう必要ありません。ストレージの刷新により、老朽化更新が過去のものとなります。ピュア・ストレージのアップグレード可能なアーキテクチャが、計画的ダウンタイムを伴わない継続的更新を可能にします。

**従来型ストレージをピュア・ストレージで置き換えることによる TCO 削減効果 —
置き換え 250 TB ごとに 3 年間で工数 50%、コスト 58.5 万ドルの削減**

ピュア・ストレージは、将来を見据えたストレージ戦略および老朽化更新サイクルからの脱却を可能にします。ピュア・ストレージについて詳しくは、[こちら](#)からお問い合わせください。

ピュア・ストレージ・ジャパン株式会社 | 03-4563-7443 (代表)

<https://www.purestorage.com/jp/contact.html>

© 2020 Pure Storage, Inc. All rights reserved. Pure Storage, 「P」のロゴ、Evergreen は、米国およびその他の国における Pure Storage, Inc. の商標または登録商標です。他の全ての商標は、それぞれの所有者の登録商標です。